

## 海の事故ゼロキャンペーンについて

第五管区海上保安本部では、夏季のマリンレジャーシーズン中の事故防止のため、『海の事故ゼロキャンペーン』を実施します。

### 1. 夏季マリンレジャー等安全推進活動(7月1日(火)から8月31日(日)までの間)

当管内における昨年の7月～8月におけるマリンレジャーに関する海浜事故者は36人(死者・行方不明者7人)、プレジャーボートの船舶海難は44隻となっています。

この時期は、マリンレジャーの活発化に伴い事故が多く発生していることから、次の事項を重点として、安全推進活動を実施します。

- 遊泳時の事故防止
- プレジャーボートの海難の防止

#### (1) 遊泳時の事故防止

7月～8月のマリンレジャーに関する海浜事故の事故者36人(死者・行方不明者7人)ですが、このうち遊泳中の事故者が過半数以上の19人(死者・行方不明者5人)となっています。

15歳以下のマリンレジャーに関する海浜事故の事故者は14人(死者・行方不明者0人)となっており、特にこの2ヶ月に集中する傾向があるので、遊泳中の事故防止にあたって注意事項は、次のとおりです。

- 指定された場所以外での遊泳はしない  
場所によっては、離岸流と呼ばれる沖に向う強い流れもあるので、注意が必要です
- 保護者・引率者は、遊泳中のお子さんから目を離さず、単独行動させない  
小さいお子さんには、マリンベストやライフジャケットを着用させましょう。
- 飲酒中の遊泳は控えましょう
- 十分な休息をとりましょう

夏休み前を中心として、海上保安官が管内の小中学校等において事故防止のために、児童生徒、教職員、保護者を対象にした安全講習会を実施します。

併せて期間中は、巡視船艇・航空機による海浜パトロール、海上保安官が海水浴場等へ巡回するなどして、現場での海浜事故の防止に取り組みます。

#### (2) プレジャーボートの海難の防止

夏季マリンレジャーシーズン(7月～8月)のプレジャーボートの海難は44隻発生し

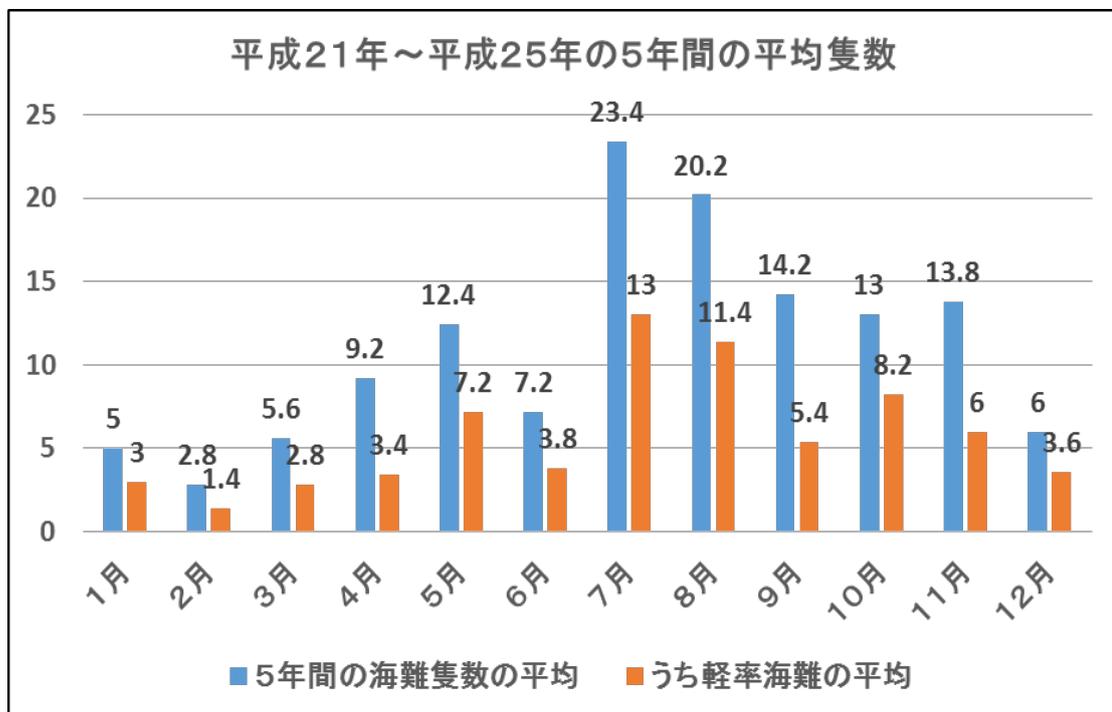
ており、この2ヶ月間でプレジャーボート海難の31%を占め、特に土、日、休日に多発している傾向にあります。

当管区における昨年の海難船舶総隻数284隻のうち、プレジャーボート海難は50%(142隻)を占めています。

プレジャーボートの海難種類別では、衝突、機関故障、乗揚、燃料欠乏やバッテリー上がりといった運航障害が70%(99隻)で、これらの海難のうち、常時適切な見張りの励行や発航前点検といった基本的事項を遵守することで未然に防止することができた海難『**軽率海難**』が70%(70隻)を占めています。

**このため、海難防止講習会、合同パトロール、訪船指導等を実施して軽率海難の防止に取り組めます。**

## 【プレジャーボートの海難隻数と軽率海難の状況】〔単位: 隻〕



### 2. 全国海難防止強調運動(7月16日(水)から31日(木)までの間)

全国海難防止強調運動は昭和23年から実施されている官民が一体となって実施する運動で、近畿・四国地方の運動においても近畿運輸局、水産庁瀬戸内海漁業調整事務所、海洋气象台、各海事関係団体等37団体が連携し、次の3つの重点事項を設定して海難防止運動を実施します。

1. 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進〔衝突海難の防止〕
2. ライフジャケット常時着用等自己救命策の確保〔自己救命策確保〕
3. 小型船舶における軽率海難防止の徹底〔小型船舶の海難防止〕

第五管区海上保安本部では、小型船の安全対策の徹底に関して、**特にプレジャーボートの軽率海難の防止**に力を入れて取り組めます。

### 3. 各部署の主な活動予定(7月)

	実施日	担当部署	実施事項	実施内容
① 安全に関する指導・教育	7月1日	大阪海上保安監部	合同安全点検	夏季多客期フェリーへの運輸管理部との合同安全点検
	7月6日	神戸海上保安部 西宮海上保安署	海上安全教室	マリナー関係者を対象とした自己救命策確保講習会
	7月10日	海南海上保安署	海上安全教室	地元小学校における海難防止・救命胴衣着用に関する教室
	7月16日	美波分室	海上安全教室	地元小学校への自己救命策確保に関する講習
	7月4日	西宮海上保安署	海難防止講習会	大学のヨット部デインギーヨット乗船者に対する海難防止講習会
	7月21日	加古川海上保安署	海上安全教室 (体験航海)	地元小学生及び保護者等への海難防止・救命胴衣着用、自己救命策確保に関する講習後及び巡視艇体験航海
	7月21日	西宮海上保安署	海難防止講習会 合同安全指導	西宮マリンウィークにおいて一般・小学生及びプレジャーボートへの海難防止講習会及び神戸運輸管理部との合同による安全指導
② 各種行事・啓発活動等	7月19日	和歌山海上保安部	周知啓発活動	一般市民に対して徳川吉宗公銅像救命胴衣啓発キャンペーン
	7月19日	大阪湾海上交通センター	施設一般公開	来場者に各種パンフレット等を配布し海難防止啓発活動を実施
	7月20日	大阪海上保安監部	海難防止活動	第25回大阪港カッターレースにあわせ体験航海実施
	7月21日	神戸海上保安部	周知啓発活動	ポート天国に併せ、海保PRブース・巡視艇体験航海等実施
	7月21日	姫路海上保安部	一日海上保安官任命 海難防止啓発活動	「一日海上保安官」を任命し、「姫路ふれあいフェスティバル」来場者に対して海難防止啓発活動を実施
	7月21日	美波分室	合同パトロール	乙姫大使(一日海上保安官)による海難防止啓発活動に併せ、警察との合同パトロール
	7月23日	関空保安基地	海難防止等啓発イベント	大型ショッピングセンター「イオンモールりんくう泉南」における海難防止等イベント
	7月26日	田辺海上保安部	合同パトロール	海上安全指導員及び巡視船艇による合同パトロール
	7月下旬	大阪海上保安監部	合同パトロール	内航タンカー組合関係者と合同で海難防止指導実施

※取材活動につきましては、個別に各海上保安部署にお問い合わせ下さい。

《お問い合わせ先海上保安部》

大阪府 大阪海上保安監部・・・06-6571-0221 関西空港海上保安航空基地・・・072-455-1235	兵庫県 神戸海上保安部・・・078-331-8440 姫路海上保安部・・・079-231-5063	和歌山県 和歌山海上保安部・・・073-402-5850 田辺海上保安部・・・0739-22-2002
徳島県 徳島海上保安部・・・0885-33-2246	高知県 高知海上保安部・・・088-832-7111	

#### 4. 海の事故ゼロキャンペーンの出動式について

6月13日に小型船舶の海難防止に関する連携を目的として、近畿運輸局、四国運輸局、神戸運輸監理部、水産庁瀬戸内海漁業調整事務所、第五管区海上保安本部により「関係官庁小型船舶海難防止連絡会議」を開催して、小型船舶の海難防止に関する検討を行うとともに、各機関における海難防止にかかる連携の一環として、全国海難防止強調運動の初日に関係官庁と合同で出動式を実施することとなりました。

合同出動式の実施状況について取材をお願いします。

◆実施日時

平成26年7月16日(水) 14:00～(予定)

◆実施場所

阪神港神戸区新港第一突堤の西側岸壁(予定)

◆参加機関(調整中)

第五管区海上保安本部、神戸海上保安部

近畿運輸局、神戸運輸監理部、四国運輸局

水産庁瀬戸内海漁業調整事務所

詳細は未定ですが、決定次第投げ込み広報を予定しておりますのでよろしく願いいたします。

# 海の事故ゼロキャンペーン



2014 7/16・31  
全国海難防止強調運動  
海難<sup>⑤</sup>への願い

海で楽しく  
安全に

## 海の事故ゼロ キャンペーン

大好きな海で事故を起こして  
ほしくはから安全が一番です。  
目指そう海の事故ゼロ。  
2014年夏と2015年秋の両陣営

■主 催：国土交通省、国土利用・都市計画院、国土交通省海難防止課、国土交通省海上保安庁、国土交通省水産庁、国土交通省河川・海洋政策課、国土交通省港湾政策課、国土交通省水産政策課、国土交通省水産資源課、国土交通省水産振興課、国土交通省水産加工課、国土交通省水産流通課、国土交通省水産消費課、国土交通省水産検査課、国土交通省水産衛生課、国土交通省水産環境課、国土交通省水産情報課、国土交通省水産広報課、国土交通省水産調査課、国土交通省水産研究課、国土交通省水産開発課、国土交通省水産国際課、国土交通省水産協同課、国土交通省水産振興センター

2014ミス日本「海の日」  
花岡麻里名さん（神戸市出身）